

車山・八子ヶ峰 雪山登山報告

【 山 域 】美ヶ原・霧ヶ峰

【日程と天気】平成28年12月3日(土)～4日(日)快晴

【メンバ ー】CL室 SL狩野 時田 宮城 吉瀬

【 行 程 】12月3日 JR 船橋駅 6:20 ⇒中央道⇒車山肩 10:20 着 10:40…11:40 車山山頂…
12:30 蝶々深山…13:10 物見石…奥霧小屋…沢渡…14:30 車山肩着

久々に快晴となったウイークエンド。JR 船橋駅に集合しMさんの愛車で車山に向かう途中、中央道から見える富士山は雪を纏って素敵でした。

車山肩の駐車場に車を止め、身支度を整えました。

今年は11月24日に関東地方も降雪があったので、霧ヶ峰雪山登山の予定でしたけれど、数日前からの好天により山頂の雪も随分融けていました。念のため軽アイゼンをザックに入れ、スパッツを付けてリーダーの「ゆっくり行くよ～」の声で出発。じきに温かい陽射しもと、汗ばんできました。50分ほどで車山山頂に到着。ほんの少し登っただけなのに、山頂からは八ヶ岳・富士山、南アルプスの北岳・仙丈岳・甲斐駒ヶ岳。中央アルプス・北アルプスの山々が見えました。大きく深呼吸。「気持ちいいね～。」「こんなに天気がいいなんて。ご褒美だね。」…(山行中、何度この言葉を口にしたことか!(!))

山頂から蝶々深山への登山道は雪が少し凍った下り道。下りが苦手な私は思わず全身に力が入ってしまい、皆がスムーズに下って行くのにマゴマゴしてしまいました。するとリーダーが素早く戻ってきてくれて、「これぐらいは、しっかり足を地面につけて下れば大丈夫。」と。緊張したけれどゆっくりと下りました。笹原の間の登山道は雪解けの水で泥んこ道。泥で靴底が厚くなるし、スパッツは泥だらけになるものの、霧ヶ峰の美しい景色にうっとり。霧ヶ峰がお気に入りのリーダーは、「ここはもっと雪が積もると雪原に木がポコポコとなって絵本の景色。」とのこと。「葉祥明の世界？」と聞くと。「まさにその世界。」と。雪の霧ヶ峰を想像してうっとりとしてしまいました。

蝶々深山に着くと前方の山を指して、リーダーが「あれがゼブラ山。」と教えてくれました。「ゼブラ山？シマウマ？」と聞くと「ゼブラ山というが別名もあり男女倉山ともいう」。

物見石からの下りは道がぬかるんで滑りやすく、ここでもマゴマゴ。リーダーに、足の運び方を伝授してもらいました。そして、「ゆるい斜面で少しずつやってみてね。」と。

沢渡近くの林道を歩いていると、リーダーのスマホから『トゥーランドット』のオペラが。皆で「いいね～。」。リラッ～クス。リラックス。沢渡の小川で靴底の泥を洗い流した後、車山肩への登山道を登り車山肩に到着。そして、今夜のお宿へ。お宿は、『ホテルアルビエント蓼科』

ホテルに到着後、まず温泉に入り、その後『おしゃれセーター』でディナー。ワインをいただきながらゆっくりとお食事。部屋の窓から見える景色も外国のようで、とても素敵でした。



12月4日 晴れのち曇り

蓼科山登山口 9:30…展望台 9:50…10:50 八子ヶ峰 11:10…蓼科山登山口 12:10

朝食をしっかり、いただいてホテルを出発しました。

お向かいの蓼科山は頂上付近は少し雪があるのが見えましたけれど、八子ヶ峰は融けていました。

展望台から八子ヶ峰への稜線はとても見晴らしが良く、皆で地図を広げて山の同定をして楽しいひと時。山々を見ながら、ちば山50周年山行にたくさん参加した T さんが「アルプスは、登っても素敵だったけれど、遠くから見るのもいいね〜。」と。皆、ウン。ウン。同感です。

千葉への帰り道、車窓から見える山々を同定。ピラミダルな山の名をスマホで検索。その名は『十二が岳』。リーダーはじめ K さん T さん M さんが口にする山の名前とその山行の話を聞いて、行ってみたい山がふえました。

日常をはなれ、心身ともにリフレッシュしました。どうもありがとうございました。

日常を大切にしつつ、長くお山に行きたいと思いました。



(写真：狩野・時田 記録：吉瀬)

